

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和3年12月22日（水）15時30分～16時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、大井専門職、松末技術参与、磯田係員

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・第1020回 原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合 ご指摘事項について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のニシキです。それでは面談を始めたいと思います。本日の面談は浜岡原子力発電所の津波来え基準津波策定のうちプレート間地震、津波評価についてと口
0:00:20	記録及び津波堆積物に関する調査についての審査会合に関するアップのメンバーになります。それでは、中部電力の方から
0:00:30	中身についての説明をお願いいたします。
0:00:35	中部電力アマノでございます。先週審査会合ありがとうございました主体 1200、1020 回の審査会合において御説明させていただきました浜岡原子力発電所基準津波策定のうちプレート間地震の津波評価について、
0:00:53	と歴史記録及び津波堆積物に関する調査 2 件について、ご指摘いただいた内容について整理して参りましたので、今から御説明して推進の確認の方をよろしくをお願いいたします。
0:01:12	はい、中部電力のモリです。資料について御説明させていただきます。
0:01:17	事前に 1020 回の審査会合ご指摘事項についてということで、A 41 枚で送付させていただいてるものについて説明させていただきます。

0:01:28	まず 1 ポツ御説明内容ということで、当日はプレート間地震の津波評価のコメント回答と歴史記録及び津波堆積物に関する調査についてのコメント回答の 2 件について説明いたしました。
0:01:42	二つ目ご指摘事項ということで、
0:01:45	(1) のプレート間地震の津波評価と下のほう (2) の歴史記録及び津波耐性六つに関する調査ということで、二つに分けて指摘事項を記載しております。
0:01:57	1 ポツ目のプレート間地震の津波評価についてはその中でも、検討波源モデルについてとところと丸でその下のほうにあります日本海故障用いたモデルについて、その他ということで三つに分類しております。それぞれ上のほうから説明させていただきます。
0:02:14	まず検討波源モデルについてということで、1 ポツ目に滑り量 37m とライズタイム 60 秒の組み合わせはさらなる不確かさのコールではなく、
0:02:23	詳細パラメータスタディの中で検討すること、その際ライズタイム 60 から 120 秒の間のパラメータスタディも行うこと。
0:02:32	二つ目の設定した波源モデルと内閣府の最大クラスモデルとの違いをわかりやすく整理すること。

0:02:39	また、両者の破壊開始点などの条件をそろえて津波評価を実施し、その評価結果を比較して示すこと。
0:02:47	三つ目、検討波源モデルの超滑り域の深さの設定とプレート境界に関する地震学的知見との関係について整理すること。
0:02:59	四つ目、概略パラメータスタディによる基準断層モデルの設定について破壊開始点の条件等を考慮した上で適切に選定すると。
0:03:09	以上4点にまとめております。
0:03:11	また、続きまして日本海溝の手法を用いたモデルについてです。一つ目のポツで日本海溝の手法を用いたモデルとの比較は検討波源モデルの設定の段階で行うこと。
0:03:24	また、滑り量分布の設定方法などのモデル設定としての妥当性を確認するため、比較にあたっては、滑り域ライズタイム破壊伝播速度破壊開始点の条件をそろえること。
0:03:37	2ポツ目、日本海溝の津波評価手法に3の滑りを設定に関する記載の適正化すること。
0:03:44	こちらの背景領域等の記載について御指摘いただいたことを記載して
0:03:49	先ほど言いますと、その他ということで、

0:03:53	一つ駿河トラフの下に沈み込むフィリピン回プレートの形状に関する知見、具体的には松原へ通る 2021 について、津波評価への影響を示すこと。
0:04:05	以上にまとめております。また (2) として、歴史記録及び津波堆積物に関する調査ですが、3. に記載をまとめて整理しております。
0:04:16	まず一つ目、A 敷地内のイベント堆積物が分布する上限標高について別所に基づき、示すこと。
0:04:25	二つ目、文献により示されている遠州灘沿岸域の津波堆積物について堆積年代を整理して示すこと。
0:04:34	最後に三つ目、6000 年前の敷地の地形を想定した津波の締め数値シミュレーションを行い、タニ地形によって津波が遡上することを解析的に示すこと以上の 3. にまとめております。
0:04:48	当社からの説明は以上でございます。
0:04:53	規制庁ニシキですご説明ありがとうございます。それではこちら
0:04:59	これらの確認をしていきたいと思えます。
0:05:07	はい。規制庁サグチですけれども、
0:05:13	ちょっとまずまずそうですね、(1) のプレート間地震の津波評価のところから順番に行きますけれども、

0:05:20	○大きな丸で検討波源モデルについてとか日本海溝の小児を用いたモデルについてとか総務だとかありますけども、ちょっと
0:05:29	分類は別として、
0:05:33	上から 12 億と最初、
0:05:35	二つぐらいが私、
0:05:38	7 のコメントに関連。
0:05:41	したものだと思いますけど上、
0:05:45	一番上から二つに関しては趣旨としてはこれでわかりやすくまとめていただいたと思っています。
0:05:56	それと三つ目もまあこういうこういう趣旨なので、お互いに
0:06:03	相互にそごがないようなちゃんと理解ができていればいいのかなと思って。
0:06:08	四目若干なんか、
0:06:11	ニュアンスが
0:06:13	違うのかなという。
0:06:16	費もするんですけど、あくまでもこちらの趣旨としては、今設定をされているパラメーターの範囲の中でちゃんと
0:06:28	漏れがないような形でできているんですよと。

0:06:32	もしできてないだったらそれはちょっと問題があるので、
0:06:36	漏れがないような形でちゃんとできているかどうかというのを、
0:06:41	確認させていただきたいという趣旨でコメントをしたんですけども、
0:06:47	一応、
0:06:49	御社の理解としても、それで〇〇Iですかね。
0:06:55	中電のアマノでございます理解としてはサグチ今おっしゃられた通りだ と思っております、浅田管理官から補足があった中で、例えば 171 ペ ージで御説明させていただいたような今選んでるのが、
0:07:13	概略パラスタの中で 17.6 ですよってというのがあるんですけどその両サイ ドで 17.5 とかがいるというところに関して
0:07:25	念のためそちらで漏れがないかということで詳細パラスタをやっていく ということがメールの趣旨ではあるかと思いますがその前段階とし て、例えば、これ破壊開始点を十分に出るんですけど、同時破壊岩盤 上、
0:07:43	紹介してもさほど変わりませんよというようなところを一度御説明した 上で大差ないんですが、去年のため詳細ありますよと、そういったお言 葉をいただいていたので、それを日本語で表現したつもりでございます。

0:08:09	はいサグチです管理官が言われたのは多分そういうことだとは思っては いますけれども、幾つか多分やり方は方法ありますよねということで、
0:08:21	周りを幾つか複数でやるっていうのも手ですし、当然なくても本当にこ こでいいんだよっていうふうに示せるんだったらそういう
0:08:31	同時破壊とか瞬時破壊とかいろいろコメントしてますけどそういう形で 示していただくのもテかもしれませんけれども、いずれにしても、
0:08:41	最終結果として、最初のその概略パラメータスタディで、
0:08:46	選定する一つだけで、これが最終的な結果として何かこう、
0:08:53	入れかわっちゃうようなことは、
0:08:55	ないですよと、そういう確認はちゃんとさせてくださいという、
0:08:59	趣旨ですので、もちろん入れかわっちゃうんだったらその入れ替わった ものを最終結果とする必要が当然ありますけれども、
0:09:06	そこが趣旨ですので、そこは御確認できればいいと思ってるんですけ ど、大丈夫ですよ。
0:09:20	はい、中部電力の森です。承知しました。
0:09:24	基本的には我々が選定しているものについて、今の選定結果が妥当かと いうような観点で

0:09:32	少し検討を進めさせていただいて、また御説明したいと思います。よろしくお願いたします。
0:09:44	規制庁ナイトウですけれども、
0:09:47	刀禰であれば、この書き方って、
0:09:51	変ですよねと。
0:09:54	破壊開始点の条件等を考慮した上で設定することということを我々が指摘しているつもりはないんですけれども、
0:10:02	例えばで言ってる話であって、
0:10:05	本来、もともとの趣旨としては、今のやり方で本当に抜けがないのかということについて、
0:10:12	大丈夫ですかと。
0:10:15	で破壊開始点がスタートになってるけども破壊開始点を固定してハシで IAEA をすべき固定へオオイが一番効くかとやってるけど、あとはいつも破壊開始点 2 という形で固定をした形でやっている中で対策がないっていう状況で、
0:10:32	そのトップだけを選んだりとかしているんですけども、
0:10:37	いや後から破壊開始点をすべきを変えれば、一番きく破壊開始点の位置も変わってくる破壊化して附属して動くので、そういうことを効率的

	<p>に、今の条件で高くなる条件のものが網羅的に進めてきているっていうことについて大丈夫なんですか。</p>
0:10:57	<p>そこについてきちんとやってくださいねっていうのが趣旨なんですけど。</p>
0:11:04	<p>この今の中部電力は会社ず破壊開始点の条計等を考慮した上で適切に設定することということで、すごい矮小化してるんですけども、破壊開始系のことについて検討しなさいって言ってるわけじゃないんですけど。</p>
0:11:19	<p>中部電力アマノでございますナイトウさんの御趣旨は理解しております、まさにへと漏れがないようにというところ、今、名いる一つだけでいいのか、或いは、その両サイド転ぶのがあるかもしれないところも漏れがないようにやるということ。</p>
0:11:38	<p>御趣旨として認識しておりますので、ちょっと審査会合のときにその破壊開始点がなくしてっていうのは例示いただいたんでしょそこに要請といたほうがよいのかなという意味で記載させていただきましたけど、ちょっと</p>

0:11:55	ヒアリングの前には、今の漏れがないようにと、今の欄でやり方が漏れがあるのかないのかってのちゃんとわかるように説明するという趣旨で回答させていただきたいと思います。
0:12:11	はい、規制庁サグチです。
0:12:14	ただ、その一方で、多分これカイダの方からコメントして破壊開始点っていうのも確かに
0:12:21	出たんですよね。それは何故かっていうと、
0:12:26	破壊開始点っていうのが結局一番最初のスタートの段階で、そのあとそのパラメータスタディの要因分析なんかしてますけど。
0:12:38	影響の大きい破壊開始点を選んでもらうんじゃなくて最もいわゆるスタンダードというのか何かここでもやられてる滑り域の真ん中の下に置いた形でやられていて、
0:12:52	結局最終結果としてはこの破壊開始点2っていうのは、どのケースも結局選ばれないわけなんですよね。
0:12:58	だから、そういう意味で、本当にじゃあ破壊開始点。
0:13:04	1 結局一番最後に詳細パラスタでやってるんですけど、

0:13:09	多分女川とか見ていただければわかるかもしれないんですけど、結構これ早い段階に来あの破壊開始点の影響みたいなことで検討されていて、それも含めてそのあとのパラスタなんかもやっているの、
0:13:24	そうそういうことを考えると、
0:13:27	うん破壊開始点ってひょっとして、最後じゃ駄目かもねっていうのも我々の中にあって、ちょっとカイダからもああいうコメントさせていただいてるんですね、逆に言うと、そういう破壊開始点とか、当然、
0:13:43	全部やるとやっぱりそれは大変な作業になるとか、そういうのもあって、
0:13:48	だったらいっそのことその破壊開始点とか、そういう影響を受けないような形で、
0:13:53	同時破壊なる瞬時破壊なり、
0:13:56	ていうのもするのも一つその用パラメータを減らしてですね。
0:14:01	やるのも一つ手じゃないかというのでちょっと管理官の方からはコメントはしていますので、ちょっとそういうところも含めて、あくまでもなんか破壊開始点だけにフォーカスをしているわけじゃないんですけども、でも破壊開始点も結構重要なんですよというところもあるので、

0:14:18	ちょっとその辺りを踏まえてですね、記載のほうだけはもうちょっと工夫していただければと。
0:14:24	思いますので、よろしくお願いします。
0:14:30	はい、中部電力モリモトです。承知いたしましたの趣旨についてはよく理解できました。女川の資料も確認させていただいてまして、パラメータS A R R Yの順番としては同じように、概略パラメータスタディをする力を振って詳細パラメータスタディでも破壊開始点等の不確かさも見ていくと、
0:14:47	ただ妥当性の確認という中で、滑り域の位置がここでいいのかっていう中で最終的に選んだ破壊開始点でも滑り域の位置のフッ化を振ってみて結果選ばれるものが変わらないというのを見ているというようなこともやられていますので、どのような形で回答させていただくのかについては今後検討さして、
0:15:07	いただきますけれども、他社の資料を見つつ、説明書の高いものを検討したいと思います。以上です。
0:15:15	はい、規制庁サグチです。このあたりはよろしく願いいたします。
0:15:20	引き続き、その下ですね日本海溝の手法を用いたモデルについてということで、

0:15:26	一つ目のポツは、管理官言われたほぼそのままなのかなという、あくまでも
0:15:34	私も言いましたけど、再最後の
0:15:39	段階で、その水。
0:15:41	大きくなるからいいんですよっていうだけじゃなくてももともとはその波源検討波源モデルのまた妥当性というところですね。
0:15:50	なんか私もちょっと
0:15:53	言っていてづらい部分はあったんで、というのは前のヒアリングの一番最初の時ですかね、条件でほぼ同じような形でそろえて持ってきていただいたっていうところもあってちょっと言いにくい部分もあったんですけど、
0:16:09	ただしどこにそろえるかっていうのはちょっとまた別の話ですけどね。 本当に
0:16:16	ライズタイム 150 秒とかそういうところで全部そうちゃっていいのかっていうのもあるんですけど、それでちょっと確認をさせていただきかけたのは、私ちょっとちらっとコメントをしたんですけど。
0:16:28	あれ。
0:16:31	なんて言うんですけど、南海トラフの与えで変えて、当然

0:16:36	まだ概略からとか詳細パラとかする前の段階ですよ。前の段階で比べると、
0:16:42	M U T O H、やっぱりあれって大きくなるんですかねっていうのは、今回の資料でその仮定が実はを得なかったもので、もう最終結果で
0:16:54	最初のヒアリングのときはあくまでも
0:16:56	最小があった。
0:16:59	合ってそうも最初これ 150 秒だけでやってたので、純粹に例えばライズタイムを 60 秒だけにした。
0:17:09	ドアバージョンっていうのは、多分今でなくて、それでちょっと確認をさせてもらったんですけど、結局のところは設定。
0:17:18	大きくなるんですかねっていうのは
0:17:21	検討波源モデル妥当性確認の用のモデルの日本海溝の手法。
0:17:28	を用いたモデル、この②と③で
0:17:32	ちょっとその前回から滑り量の分布を変えて、いわゆる
0:17:37	背景領域を設けない。滑り量分布されたわけで、
0:17:42	それによると、ひよっとしたらこれ。
0:17:46	60 秒とかで普通にやっても超えてこなかったんじゃないかなと思ったんですけど、そうするって何か検討とかされてたんでしたっけ。

0:18:08	比べる 1、
0:18:10	中部電力の森です。
0:18:14	今の防止、ご確認はへと検討波源モデルは、100 ここの部分の 750 秒だとかで日本海溝のモデルは、60 でというので津浪評価を比べるとどうかという御指摘だというふうに理解して、
0:18:29	ていますが、それはそういうことでよろしいですよ。
0:18:33	一応サグチですけども、介護ではもう条件そろえてっていう話だったんですけど、そうじゃなくて、
0:18:42	その会合前のときに、ヒアリング含めて出されていた過程の中で、
0:18:48	660 秒だけですね、日本海溝モデルの
0:18:53	した場合に、
0:18:55	検討波源モデル A から D っていうのを超えた (エ) 何回みたいなそんな確認っていうのはされてたんですか。いや、ひょっとしたら、
0:19:03	60 分だけにするんだったら、超えないのかなっていう思ってそれで介護で確認させていただいたんですけど。
0:19:13	はい、中部電力の森です。所理解しました。
0:19:19	ちょっとそのヒアリングの資料から追えるかどうかというのはちょっと自信がないんですけども、確認をしております、詳細パラメータスタ

	<p>ディまでやっぱりいかないとですね、ライズタイムのちょっと条件が違いすぎるので、日本海溝モデルのほうが大きくなっているということだったというふうに今記憶しております。</p>
0:19:36	<p>なのでちょっと比べ方については、</p>
0:19:41	<p>同じ条件で今回ご指摘いただいたように検討波源モデルなんかで比べるのであれば、最終的にはどちらも 60 が見てますので、同じ条件にそろえた上で、滑り量分布、</p>
0:19:53	<p>都立答えさせていただいたような津浪を利益するような水の分布だと初期水位の分布だとか、当然津波評価結果も含めて、同じぐらいの能力があるということは何らかあの同じ条件で示させていただきたいなというふうに考えています。</p>
0:20:11	<p>以上です。</p>
0:20:13	<p>はい、規制庁作サグチです。わかりました。その辺り趣旨は少なくとも伝わっていて、お互いにここは相互理解できている。</p>
0:20:22	<p>今確認しましたので、引き続き要則お願いいたしますだと、2 ポツ目はもうこれいいですよ私もさっきちょっとちらっと言っちゃいましたけど結局、</p>

0:20:35	背景領域を設けないというモデルであって、背景療育を設けた上で、平均滑り量の1倍をするっていうのがちょっと違いますよね、そういう趣旨でそこはよろしいですよ。
0:20:51	はい、中部電力の森です。当日、ニシキさんから御指摘いただいた通りだと思っておりますので、そのように修正させていただきたいと思えます。
0:21:01	規制庁サグチです。津浪評価の最後のその他どこなんですけど、これ
0:21:07	会合で一応、
0:21:11	言った通りかという、実は最後に、
0:21:16	津浪評価への影響を示すことってされてるんですけど、実は会合では、あくまでもこれプレート間のフィリピン回プレートの形状に関することなんで、津浪だけじゃなくて、地震も、
0:21:31	というキーワードも
0:21:33	言っていると思うんですけど、これはあくまでもあれですか。津浪。
0:21:39	に対するなんていうんすかね開会等々して、その津波評価の影響を示すこととしてるんですけどこれ地震側でも同じように、じゃあ、そのコメントを受けて時地震動への影響を示すことみたいなことを
0:21:56	追加されるのか、それとも、

0:22:00	そもそも何か津浪の会合だったので、津波評価だけかっていうふうに思われたのか、ちょっとそこだけ確認してさせてください。
0:22:10	はい、中部電力アマノでございます。しっかり地震動のほうでも確認をして御説明させていただきたいと考えてございますので、ここで自信持っているのは、会議直すことも可能なんですけど、ちょっといて、
0:22:29	実は昨日すでに1回目のヒアリングの資料提出させていただいておりました、さすがに1例は、検討がまだできていなくて、エポ1月12日までには何らか、お示しできればしていきたいなと思っておりますが、
0:22:47	最後に1回目のヒアリングまでには、形として織り込めるように今検討はしておるところですが、もともと松丸さんの論文自体を前から確認していますので、ちょっと整理した上で入れて参りたいと思います。
0:23:06	はい。規制庁サグチです。わかりました。少なくとも地震側でもちゃんとそういう準備はされていると。
0:23:13	いうことを今確認できましたので、一応コメントとしてはちょっと
0:23:19	地震動評価っていうのもちゃんとここ入れておいて、
0:23:24	地震側でも同じコメントとして、次回、次回のその会合のときにはちょっと示してコメントとして示していただきたいんですけどよろしいですかね。

0:23:38	中部電力アマノでございます承知いたしました地震動側にも織り込むようにいたします。
0:23:54	規制庁ナイトウですけれども、これの表現を見てもわかる 2020 回指摘事項について高値 1020 回の会合での指摘事項としては、地震と津波の評価の影響を示すことだから、ここをちゃんと書いて欲しいんですけど。
0:24:09	中部電力アマノでございます承知いたしました。ちょっとそこを悩んでしまって、津浪審査だから津波だけ書いたんですが、そこはしっかり両方記載させていただきます。
0:24:46	規制庁カイダです。
0:24:49	私の方からの (2) 番のところ私の方からコメントだったので、
0:24:56	確認した上でちょっとコメントさせていただきます。
0:25:01	日 1 ポツ目ですけれども最終的には
0:25:05	こういうことでまとめれば多分こういうことだとは思うんですけども、
0:25:10	その前段としてですね、少なくとも今示されているのを見る限りは、
0:25:17	違いがわからないので、ちょっとイベント堆積物であることが否定できないってということで、こちらは

0:25:28	考えているので、こういうことなんで、こういうことをしてください。 今ここに書かれているようなことをしてくださいというふうに申し上げ ています。
0:25:36	なのでちょっとその前段の今の前提のところも
0:25:41	記載していただくように、
0:25:44	していただきたいんですけどもその点はそのような認識でよろしいで しょうか。
0:25:53	中部電力ニシムラです。はい、会社さんがお医者おっしゃったことを承 知しております。その旨もこちらに記載するようにいたします。
0:26:03	はい、規制庁のカイダでわかりましたじゃよろしく申し上げます。今こ こに書かれているように、では上限標高について部署に基づき示すこと ということで、会合でも申し上げたんですけど。
0:26:18	やはりちょっとこう本違いますけど高等と過去の言葉では書いてあるん ですけれども、
0:26:26	見た目こう上も下も高に多様な白いパッチみたいな上がってくれパッチ みたいな上がったりにして、それが実際何なのかっていうのがちょっとこ の写真を付し伸ばしたものでわからないので、
0:26:42	何か物資をもって示していただきたいという、

0:26:47	そう。
0:26:48	うん。
0:26:49	ですので、ここにあるものをどういうふうにするからですけども、 ちょっと申し上げたんですけど今じゃ 18、19 とか、
0:26:59	12、或いは、
0:27:01	12 じゃなくて、
0:27:05	17 よりもっと時上流側のところですか。ニシキ測線が東測線と言えば、
0:27:12	今 10 日経の途中のところに、
0:27:16	ちょこっとあるやつなんだけど
0:27:18	もっと先の 17 よりも、さっき、その辺りで新しくデータ等を取得して できないかっていうところをなんか検討いただけないかなっていうところ も含めて申し上げたんですけども、
0:27:32	この辺りと同じような認識でいらっしゃるか確認したいんですけど も、
0:27:41	はい、えっ中部電力のヒサマツでございます。今東側の 17 年より先っ てというのが今度また

0:27:48	本音を鞍部を超えて標高が下がっていきますのでちょっとを追いかけていくところで、調査地点があるかないかというのを今ちょっと確認、現場で現場の状況とあわせて確認をしているところでございます。
0:28:07	その類似事象ということで、こういった部署を示していくかっていうのは今検討しておりますが今ここはもう既存のコアもありますのでそれで定量的な
0:28:22	何か分析をしてですね、そういったもので示すかま新たなあのポーリング坑は追加してですね。
0:28:30	抑えていくかっていうのは、今、
0:28:33	今、検討しておりますので、そういったことも含めて、
0:28:37	回答していきたいと思っております。
0:28:40	以上です。
0:28:42	はい、カイダです。17先がちょっと地形状況もあって、
0:28:49	できるかどうかというところを今検討されているという点で、わかりました。
0:28:55	そういった検討されてるっていう状況は把握できました。
0:29:00	それで、今現在のもっているいろいろ調査される案も今検討も進めているということですがけれども、

0:29:08	状況としてはあれなんですか、これは今、
0:29:12	写真は、これ掘削直後の申請のやつなんですけれども、
0:29:17	今やっぱり、
0:29:19	同じような状態なんでしょうかそれともこうも空からの
0:29:23	なんていいますか。
0:29:24	結構も変えてしまったようなコアになってるのか、状況を一つもしわかれば教えていただきたいんです。
0:29:32	中部電力のヒサマツです。コアのほうはですねパッキングしておりますて、一応乾燥した、していない状態というか保存はしてあります。
0:29:44	一般割れの片方かたわれは儲からからで全く使い物にならななかった ので、そちらのほうはちょっと処分しておりますがもう片方の方はパッ キングしておりますので、
0:29:59	分析等はできると考えてますんで状況としては腐食だとか、シルトのほ うはですね多少カビが生えたりとかあの表面は黒くなったりとか変色と かということはあるので、観察するときはずっと削って
0:30:17	申請名前を出して観察し直すとかいうことはしております。あと鉄分が 出てきてさ錆がついているとか、そういったへん。

0:30:27	多少の変質はありますが、コアとしては状況が確認できる状況であります。以上です。
0:30:43	わかりましたの今ある高も含めて検討して追加調査も、こういったことができるかというところで今検討されているということで確認しましたので
0:30:56	ここの書きぶりについては先ほど申し上げたように、前段のところ、
0:31:00	追加していただきたいと考えてますのでよろしくお願いします。
0:31:05	すみません、中部電力の西村です。先ほどのあのボーリング調査地点の所について少しだけ補足させていただきますと、敷地東側のほうですと、今、
0:31:17	補足説明資料だと 78 ページになるんですけども、イベントがあるのが、最後のほうだと敷地 131067 とあって 13 が一番標高が高くて、1067 で、
0:31:31	標高が下がって、同じようなレベルで推移していることから、東のほうは、
0:31:39	イベント堆積物を
0:31:41	覆うということについてはこちらで水位が

0:31:45	<p>続いて過疎の標高分布標高が続いてるというのを確認してるので十分だ というふうに考えてはございますが、コメントご指摘いただきましたよ うに一応ボーリング調査地点は、当社のほうで今検討中ではございま す。実施可否の方については、</p>
0:32:02	<p>まだまだはちょっとわからない状況でございますが、今、検討はしてご ざいます。少しだけそこさせていただきます。</p>
0:32:10	<p>はい、わかりました。</p>
0:32:32	<p>規制庁ナイトウですけれども、ここでね。</p>
0:32:36	<p>会合でも少し言ったけれども、発電所を、</p>
0:32:40	<p>後ろのやつにも自己3ポツに関わってくるんだけど、発電所の例でイベ ント堆積物と考えていだろうとイベント堆積じゃないというふうには 言えないとしてるものを</p>
0:32:57	<p>堆積年代が6000年という形になっていって例。</p>
0:33:02	<p>当歴史記録のやつと同じ形で出されてるんだけど、年代は明らかに 違いますよねと歴史記録の大洲津波との比較で言えば、比較的高い位置 にありますと敷地内わと。</p>
0:33:21	<p>プラスここはほかの文献調査についても堆積年代明確にしてくださいと いうことをコメントしてますけれども、これもおそらく</p>

0:33:34	6000年て入ってないと思われるんですよ、調査地点図見ると、低いところやってるから、多分入っていないと思われるんだけど、まずはそこをよく精査をして、6000年っていう年来の堆積物がほかにあるのかなのかってのを、
0:33:51	まずきちんと整理してもらいたいですけど、その上でおそらくないと思って我々思っているんだけどそこは調べた上で確認して示してもらえばいいんですけど、そうすると、4000年以降のやつに比べて6000年というのは、高い位置に
0:34:09	まで行っているというふうに評価することもできるデータになってしまうんですね。
0:34:16	とすると、浜岡の敷地内で見つかっているっていう相当当該地点に見つかっているってことですので、6000年っていう時代間のところの津波堆積物が発電所のところで、高さ幾つ
0:34:32	馬で言ってるんですかと。
0:34:36	それを考慮した形でもって津波評価としてやんなきゃいけないんじゃないんですかっていうのが問題意識なので、だから、追加調査も含めてね、イベント堆積分布する時上限標高押さえてくださる部署をもっと抑えてくださいとか、

0:34:53	<p>という形で言っていますので、ここをきちんと示していかないと津浪のほうでやっている再現モデル、</p>
0:35:05	<p>の位置付けの中でどう扱うかっていうのが明確にならなくなってしまうので、そこはきちんとやっていただきたい。</p>
0:35:13	<p>ということでコメントしてますのでそこはよろしいですか。</p>
0:35:18	<p>中部電力浜野でございます。ナイトウさんの御趣旨は、理解しております。やっぱり 6000 年という、ちょっと周りより古いところが発電所の中にあるっていうところでここをしっかりと</p>
0:35:34	<p>各所をもって冒頭説明ができてないといけないということは重々承知しております。もともとのこの堆積物調査自体がもう七、八年ぐらい前に当たって、正直言って、少し保守的にイベント堆積物っていうのを評価している。</p>
0:35:52	<p>説明もありますので、もともとのこのイベント堆積物がどういうものかっていうところから再度ちょっとしっかりこの部分は説明できるように、論理をしっかり構築して説明したいと思っております。</p>
0:36:08	<p>すみません。</p>
0:36:10	<p>津波堆積物に中部電力ナガマツです。すみません。補足なんですけども、津波堆積物に関して文献でどの程度の古さまで称されてるのかって</p>

	<p>いう観点であり今回の資料の中では説明はしてなかったんですけど、</p> <p>浜松周辺で面的な</p>
0:36:30	<p>そうですね。事実としては、調査自体は 6000 万円まで割り当てる形で</p> <p>調査をされていて、その中でこういった整理ができるかってのは考えて</p> <p>ちょっとお示ししたいとは思っております。よろしく申し上げます。</p>
0:36:48	<p>規制庁のカイダです。今のオオノの御説明だと物によっては例えば浜松</p> <p>辺りでは 6000 年前ぐらいの地層までこう調べた上で、</p>
0:36:58	<p>本店長さ、堆積物があるかないかっていうところまで、</p>
0:37:02	<p>検討した文献もあるという、そういったことですかね。</p>
0:37:08	<p>観点としてはそういった例えば常磐とかと同じような観点で産総研さん</p> <p>たちも調べられているのかなとは思ってますんでちょっとそれって祭日</p> <p>関係とかも含めて整理した上でお示ししたいとは思ってます。</p>
0:37:26	<p>はい、わかりました。じゃあ今のやつはこの (2) の三つの話。</p>
0:37:33	<p>かなと思いますので、</p>
0:37:35	<p>ここの 2 ポツの書きぶり自体は</p>
0:37:38	<p>結構で今の</p>
0:37:40	<p>感じで検討していただければと考えてます。</p>

0:37:46	あと3ポツ目ですね、もう今先ほどナイトウの方から話した通りで個目に
0:37:55	審査会合でもお話しした通りで趣旨としてはこの通りなのですが、やっぱり問題意識というのはやっぱり先ほどの6000年っていうのがここにしかないっていうところと、
0:38:06	あと
0:38:08	これも感覚的にはわかるんですけども山が迫っているところで高くまで遡上していく、タニがあって遡上していくと。
0:38:17	今の再現モデルの解析見ると、やっぱり5mぐらい敷地の前面とこで5mぐらいでちょっと東側に行くと、やっぱり高くなっている。
0:38:30	っていうところもありまして、
0:38:32	今実際に見つかっているイベント堆積物の高さとこれが本当に遡上したものかっていうのは、以前から議論になってますけれども、そこはこういった形で数値的なところで検証して示していただきたいというところですね。
0:38:50	そう分布する部分た変わる同じような値が出てくるっていうかそういう傾向は確認。
0:38:57	できればと考えてますので、

0:38:59	そのあたりのご認識はよろしいでしょうか。
0:39:06	はい、中部電力の森です。
0:39:08	カイダさんおっしゃっている趣旨は審査会合確認させていただいておりまして、イトウの傾向としては当然タニ地形で大きくなるというところで示せるかなというふうに思ったの、何らか地形モデルを想定すればお示しできるかなと思っておりますので、今後御説明させていただきます。
0:39:26	6000年前のあの津波堆積物についても、このあたり三つすべてセットだということで認識しておりますので、ちょっとどのような説明をパッケージとして当社のその敷地にある堆積物についてどういうふうに我々としても評価していくかということについて、今後検討させていただきたいと思います。以上です。
0:39:49	規制庁ナイトウですけれども、あのね、タニだから高くなるってことをシミュレーションで示してくださいって言うわけじゃなくて、
0:39:57	パッケージでって言うけど、刀禰発電所の中で、ここがタニ地形だったって皆さん説明で現状の他、地形等を当時の地形っていうのはほとんど変わってないと判断できると言っているわけですね。そうすると、現在、発電所建設前の地形でもって、

0:40:16	やったときに、確かに今防護調査をしている箇所ってのが、ほかのところに比べて高い水位を示すんですということをきちんと示してくださいということですよ。それによって高い水位を示すという場所で、
0:40:32	きちんと上限を少し照度押さえているから、浜岡のあそこの地点において地形を考えてもこれ以上のところではないですよっていうことをまずはしっかりと説明してくださいってことなんですけど。
0:40:45	よろしいですか。
0:40:48	中部電力アマンでございます。はい。理解しております。上限の話とこの解析によって、他の病院よりも高くなるというところをあわせて、要は助言示す場所が適切かというところをあわせて説明するというのもそういうつもりで言ってますので、
0:41:05	理解しておりますので、しっかりとロジック作ってまた御説明させていただきます。
0:41:25	規制庁ニシキです。規制庁側からの確認については、
0:41:31	以上になります。
0:41:34	最後中部電力の方から確認。
0:41:39	する点がありましたらお願いします。

0:41:52	中部電力アマノでございます。はい。こちらからは何を確認できましたのでしっかり対応させていただきたいと思います。
0:41:59	あ、ごめんなさい、ナイトウですけれども1点だけ土佐波源モデルについてのところの二つ目のポツでね、内閣府の最大クラスせれば改悪説明すること、また両者の破壊開始点の状況それ津波評価実施評価結果を示すことは言ったところの部分部分をピックアップするところなんだけれども、
0:42:18	趣旨としては、皆さんが内閣府等とも同等だな解析結果です。
0:42:28	内閣府が回ると保守的な評価だって言ってるんだけど、評価条件が違うので、評価内閣府のモデルで評価条件を合わせたときにどういう違いが出るのかっていうのをきちんと説明してくださいっていうのが、
0:42:44	趣旨なんですけどそこはよろしいですか。
0:42:48	はい中部電力アマノでございます理解しております
0:42:53	検討波源モデルつまり進め量分布、
0:42:56	どういう巨視的パラメーターの段階において内閣府のモデルと当社のモデルはほぼ等価であるというところを示してそれぞれ破壊開始点と振ってこういう影響が出ますよということは御説明します。ただ、

0:43:12	<p>結果として内閣府は破壊開始点降っていないで打って我々はそれを浜岡に一番影響を与えるものをちゃんと降っているというところを説明するという趣旨と考えておりますのでちょっとそこがわかるように、説明資料をまとめたいと思ってます。</p>
0:43:29	<p>規制庁ナイトウですけれども、念のためときますけれども、管理課が行ってたから大丈夫だと思うんですけども、ちゃんと破壊開始点なりを内閣府モデルで同じように、はい。</p>
0:43:44	<p>中部電力のモデルと同じような形で設定したときに差があるのかなのかということも含めてきちんと説明してくださいということですけどよろしいですねそこへ向かうんですが、その通りに理解しておりますので、しっかりそこは、</p>
0:44:01	<p>御説明したいと思います。遠いですから、そのみ大きく変わらないっていうのは事実でございます。</p>
0:44:14	<p>はい。規制庁ニシキです。</p>
0:44:16	<p>それはこちらのほうのか、確認の方もありました。済みましたので、これラップアップの面談のほうは終了したいと思います。</p>
0:44:29	<p>はい、ありがとうございました。はい、失礼いたします。</p>